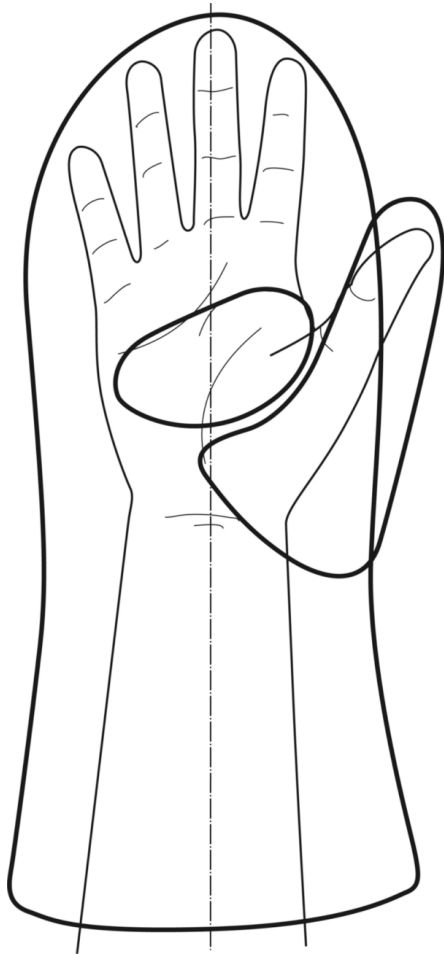




# 長屈筋群に対する緊張緩和スプリント 作成手順資料

パシフィックサプライ(株)  
事業開発本部

# 長屈筋群に対する緊張緩和スプリント

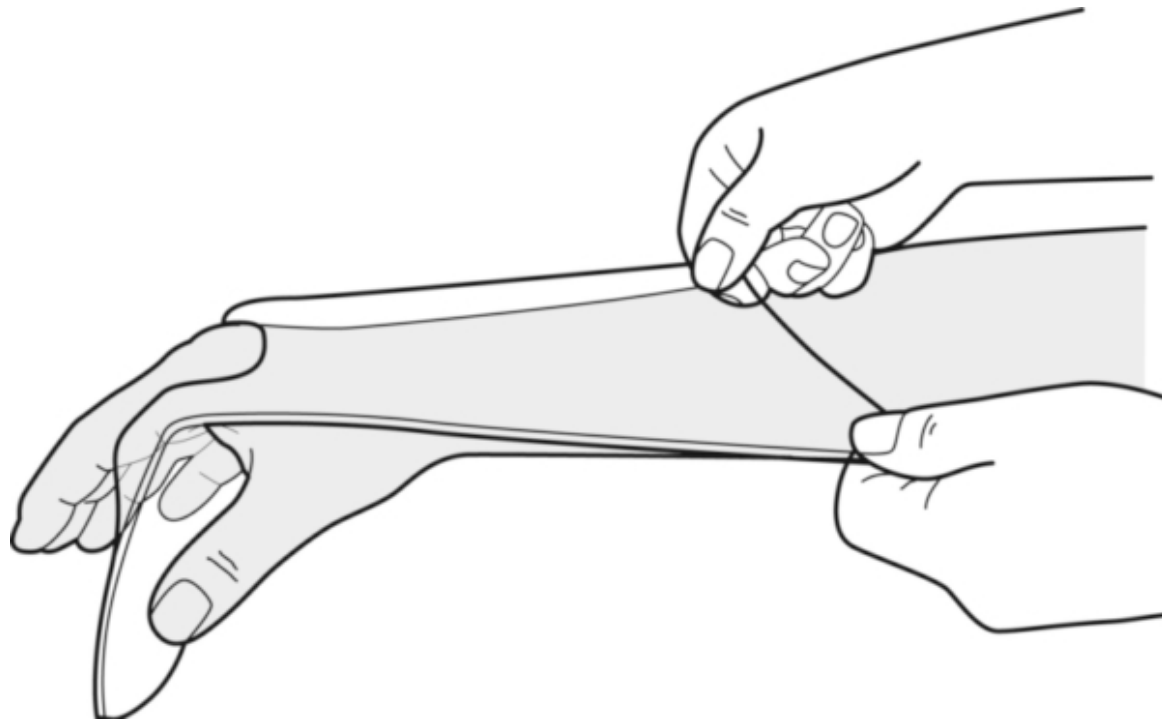


## 【使用目的】

伸張反射低下による筋緊張の抑制

## 【適用】

長屈筋群の筋緊張亢進



1、シートを患者の手の上に当てる。

左右の向きを事前に確認する。

端を手関節に向けて広げる。

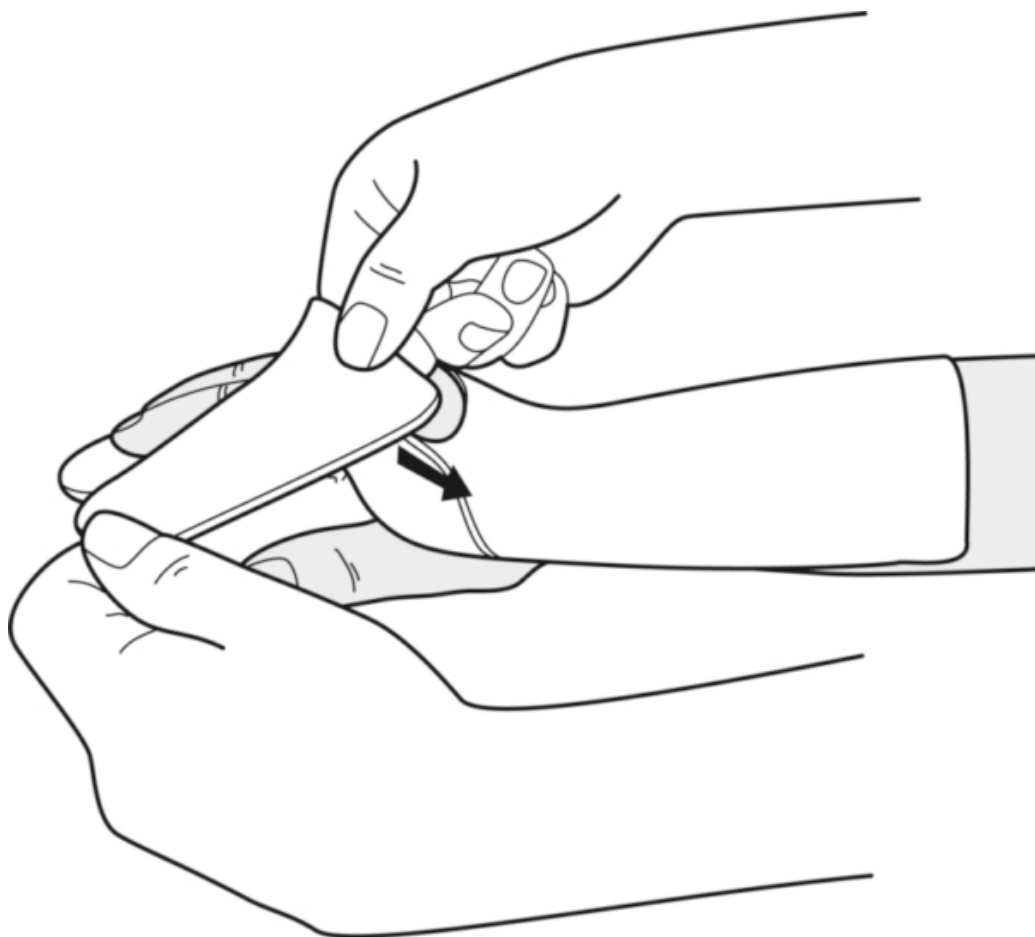


2、両外側部を上向きに折り、スプリントの背側部にしっかりと押さえつけて固定させる。

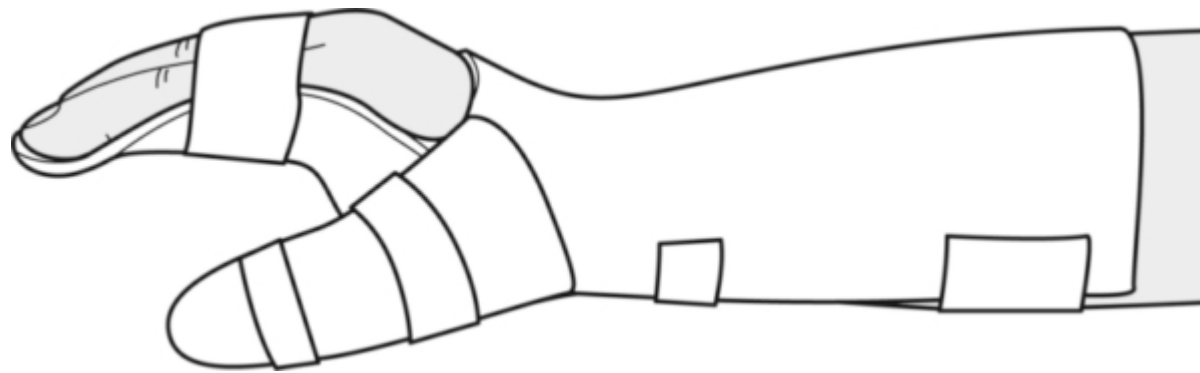


3、手関節の角度  
を決め、指の肢  
位を調整する。

手の緊張はなる  
べく落とす。



4、シートが硬くなったら、母指用パーツ部分をモールドする。後でヒートガンを用いてしっかりと固定する。



5、縁の修正を行い、特にウェブスペース部分は念入りに行う。ベルトは前腕部とPIP上部に大幅、手関節部とMP-PIPの間に小幅のベルトをつける。

# モールド(成型作業)のコツ

- ・腱短縮を伴う重度の痙性の場合、段階的に少しずつ作業を行う。
- ・最初に手関節の位置を決めてモールドし、次に指を伸展位にしてモールドする。最後に母指をモールドする。
- ・手関節部位は弾性包帯を使って固定する方法もある。

